

【例題一薬剤師 4】

自律神経系に作用する薬物に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. ベタネコールは、アドレナリン受容体作動薬であり、血管収縮作用が強く、表在性充血の除去に用いられる。
2. ピロカルピンは、ムスカリン受容体作動薬であり、瞳孔括約筋を収縮させるので、診断を目的とする縮瞳に用いられる。
3. タムスロシンは、アドレナリン $\beta$ 受容体遮断薬であり、前立腺肥大症に伴う排尿障害の治療に用いられる。
4. ネオスチグミンは、コリンエステラーゼ阻害薬であり、排尿筋を弛緩させるので、頻尿の治療に用いられる。
5. トロピカミドは、作用持続時間の短いコリンエステラーゼ阻害薬であり、眼底検査を目的とする散瞳に用いられる。

(正答) 2